

2021年度 第1回小児循環器集中治療研究会幹事会 議事録

Web 開催 Zoom

日時：2021年8月4日 20時～

参加者：安藤、上田、大崎、黒崎、小泉、竹内、名和、長谷川、松井、和田

議事内容

1) 事務局から (松井)

- ・ 会計報告 (資料あり)

2020年1月からの会計報告あり。研究会参加費も事務局で管理している。

- ・ 会員数動向

登録161名、全年度の年会費を支払っているのは50名前後。

3年間年会費納入がない場合は退会となるので、お知らせを行っていく予定。

今後研究会補助金の増額も検討している。

2) 学術集会 (当研究会) 関係 (大崎)

- ・ 2021学術集会進捗 (和田)

期間延長し演題募集中。演題はZoomによる事前録画での提出を検討している。

施設見学は動画を提示する予定。

- ・ 2022学術集会進捗 (竹内)

9月17日 (予備日10日) 大阪母子医療センター講堂を予定。

- ・ 次回以降の学術集会会長は以下の様に決定した。

2023年 宮城県立こども病院 小泉

2024年 北海道立子ども総合医療・療育センター 名和

3) 学術集会 (小循) 関係 (大崎・松井)

- ・ 小循次世代委員会&学術集会シンポジウム (制度設計) 報告 (大崎・松井)

小循次世代委員会では、小児循環器医療施設の集約化を目指すという結論を得て、集約施設の年間手術数件数や、多職種チームの必要性、集中治療医専従体制などの具体的な案を作成した。

今後どのように具現化するかが課題である。

- ・ 今後のCICU関連シンポジウムテーマ案 (大崎)

メール審議とすることとなった。

4) 保険診療 (松井)

- ・ 窒素療法その後
診療報酬の増額と、酸素療法のくくりから外すことを要望している。必要な人件費などを算出し要望書を提出している。
- ・ R6 年度保険改正の方向性
小児特定集中治療室管理料を、小児心臓手術実施施設が取得できるような改訂の要望を行う。複数の学会との連携を検討していく。

5) CICU テキスト進捗状況（大崎）

原稿が遅れる場合は、出版社におおよその原稿提出の時期を連絡すること。

6) 災害医療その後（名和）

シンポジウム後の提言に対する小児循環器学会からの動きは今のところない。

研究会からは、名和、小泉、竹内を中心に、患者トリアージ法などの各施設の経験・知見を集め情報提供を行うことを検討している。

7) 専門医制度動向

集中治療専門医が厚労省の専門医制度に認められるかどうかはまだ決定されていない。

8) その他

なし

9) 総会での報告事項

会員には幹事会内容をメールで伝える。